

第2回 柏原市公共施設等再編検討委員会 会議録

日 時	令和4年11月8日(火)
場 所	柏原市役所 本館4階 中会議室1
出 席 者	○高山新 委員長（大阪教育大学 教育学部 教授） ○辻壽一 副委員長（大阪公立大学 生活科学部 客員教授） ○碓田智子 委員（大阪教育大学 教育学部 教授） ○小林一裕 委員（政策推進部 総合政策監） ○山口伸和 委員（柏原市 財務部長） ○森本貞男 委員（柏原市 都市デザイン部長） ○福島潔 委員（柏原市 教育部長）
事 務 局	○柏原市 総務部 公有財産マネジメント課
第2回次第	1. 開会 2. 案件 (1) アンケート結果の説明 (2) アクセシビリティ分析結果の説明 (3) 再編整備パターン案作成に当たっての基本理念の説明 (4) 再編整備パターン案の説明及び評価について 3. その他 4. 閉会

委員会の内容

1. 開会	○柏原市公共施設等再編検討委員会規則 第5条第2項の規定による、会議成立要件である委員の過半数の出席を満たしており、本会議が成立することを確認した。
2. 案件 (1) アンケート結果の説明	○事務局が次の資料に沿って説明 ・資料1-1 市民アンケート調査結果概要 ・資料1-2 施設利用者・利用団体アンケート調査結果概要 ・資料2 再編整備パターン案作成に当たっての条件整理 ●アンケート結果の概要についての意見回答 【委員意見】 ①活動拠点を他の施設へ移転することが「不可能」との回答について、具体的にどのような意見が得られたのか。 ②約4～6割の利用団体・サークルが「可能」もしくは「どちらかといえば可能」と回答したとあるが、これは4割が「どちらかといえば可能」で2割が「可能」という意味か。 ③実際に4割となった施設はどれか。また6割となった施設はどこか。 ④市民の注目も得やすい話題であることから、表現には留意すべき。表現によって印象も大きく異なることから検討が必要と考える。

	<p>⑤施設ごとに回答傾向が異なるのは、施設利用者の年齢層によって回答傾向が異なってくるものと考えられる。</p> <p>⑥今後、実際に施設再編を進めるうえでは、アンケートで得られた市民意見に基づいて、詳細を検討すること。</p> <p>【事務局回答】</p> <p>①高齢の利用者が多数を占めることから、徒歩で通える範囲に施設があることが望ましい、移転してしまうと活動の継続が難しくなる、といった意見が得られている。</p> <p>②全体の傾向として、約4～6割の団体が、移転は「可能」もしくは「どちらかといえば可能」との回答をした意味である。</p> <p>③最も割合が低い施設は国分合同会館、高い施設は堅下合同会館である。少々分かりにくい表現であるため、公開の際は表現を工夫する。</p> <p>④分かりやすさを工夫する。</p> <p>【結果】 以上の点を修正すること。</p>
(2) アクセシビリティ分析結果の説明	<p>○事務局が次の資料に沿って説明 別添資料-3 再編による施設へのアクセス性の変化に関する分析</p> <p>【委員意見】 内容を確認、修正事項等の意見なし</p>
(3) 再編整備パターン案作成に当たった基本理念の説明 (4) 再編整備パターン案の説明及び評価について	<p>○事務局が次の資料に沿って説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料3-1 再編整備パターン説明資料（図面資料含む） ・資料3-2 再編整備パターン比較表 <p>【委員意見】</p> <p>①柏原市公共施設等総合管理計画において、公共施設の削減量にサンヒル柏原の延床面積は含まれているか。</p> <p>②市は電子図書館サービスの提供を開始しているが、新たに図書館を整備する必要があるのか。</p> <p>③将来的な図書館の多機能化の可能性を踏まえると、建物の拡張性を確保することが重要である。</p> <p>④新築する図書館（パターン2）の一部に、公民館本館の和室等のスペースを作ることが可能であるか。</p> <p>⑤パターン3について、市民文化会館（リビエールホール）の再編整備後の運営手法として何か想定しているものはあるか。</p> <p>⑥パターン3について、施設までの交通手段の確保は今後議論しなければならないが、</p>

景観は非常に良いため老人福祉センターとの親和性は高い。サンヒル柏原を中心的な貸館施設として機能させ、一方で柏原地区にも小規模な貸館施設を維持することが必要ではないか。市民プラザ6階には十分なスペースがあり公民館の一部を移転する余地もある。

- ⑦サンヒル柏原の活用案は良い案と考えているが、アクセスの問題を補てんするために、循環バスや専用の送迎バスを走らせるなどの対応が必要ではないか。
- ⑧リビエールホールの稼働率は年間どの程度であるか。また、具体的にはどのようなイベントが開催されているか。
- ⑨成人式は小ホールでも開催可能か。
- ⑩大ホールを図書館に転用する案も検討の余地があるのではないか。
- ⑪サンヒル柏原に図書館スペースを確保することも可能ではないか。
- ⑫サンヒル柏原の建物はまだ長期間使えるものか。
- ⑬再編対象(除外)施設について、今回は検討から除外して問題ないか。
- ⑭市の財政状況を考えると保有施設を削減する事で維持管理コストを抑制しつつ、市民サービスを維持することが重要である。これらを踏まえると、サンヒル柏原に複数施設の機能移転を図ることには大きな意義がある。パターン3が現実的だが、堅下合同会館などに公民館機能を残す案も考えられる。加えて、市民意見も聴取し、魅力ある施設を目指していくことが望ましい。市民に親しまれる施設を実現すべき。
- ⑮小ホールを図書館に転用する事も考えられる。
- ⑯施設内で直営と指定管理の部分が同居するのは現実的では無い。管理区分が複雑化するため建物全体で同じ管理手法をとるべきである。

【事務局回答】

- ①含まれている。
- ②担当課と意見交換を行ったが、図書館は今後も必要であるとの結論であった。
- ③検討する。
- ④パターン2の堅下合同会館敷地の規模では図書館単独での建設が望ましい。
- ⑤指定管理による運営手法について協議しているが、現段階では結論に至っていない。
- ⑥市民プラザの貸館機能は今後も継続する想定であるため、柏原地区の公民館の代替機能の維持はできると考えている。
- ⑦検討する。
- ⑧土日の方が稼働率は良く稼働率は61%となっている。大きなイベントとしては、成人式や歌手のコンサートなどで利用されているが、定期開催ではないため、頻繁に利用されているわけではない。
- ⑨小ホールの場合は2部制にしなければ難しい。
- ⑩大ホールの低稼働の状況は課題と捉えているが無くするのは難しい。
- ⑪耐荷重の問題があるため、難しいと判断した。
- ⑫仮に耐用年数を60年とすると約30年は使用できる。新耐震基準で建設されているた

	<p>め耐震性も問題ない。</p> <p>⑬問題ないが、それらの施設も老朽化が進んでいるため、近い将来再編整備に向けた検討が必要となる。</p> <p>⑭検討する。</p> <p>⑮検討する。</p> <p>⑯検討する。</p> <p>【結果】</p> <p>再編整備パターン3をベースとし、本委員会で判明した課題を整理すること。</p>
3. その他	<p>次回は2月上旬を予定していたが、ご意見や課題について整理を行い、次回会議の開催については後日報告する。</p>
4. 閉会	<p>議題の審議が終了し、委員会を閉会</p>